



レクの森・ヒバ爺さん(厚沢部町)

静かに、力強く。  
大地を潤す豊かな森。



檜山古事の森(江差町)

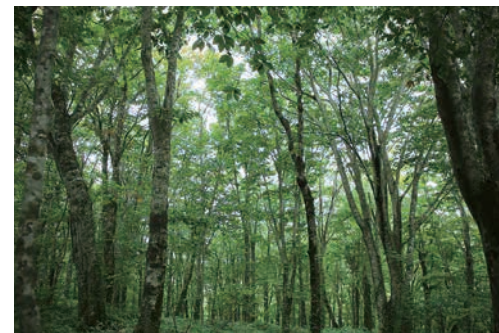


連理の木・緑柱(乙部町)

## 長寿の巨木、野鳥、植物。 森の息吹を間近に。

約560種もの植物が生育し、南北海道に植生する木の8割を見ることができる厚沢部町の土橋自然観察教育林(レクの森)をはじめ、今も地元民の手で植樹が続けられている江差町の檜山古事の森や、乙部町の縁柱森林公園、奥尻町の復興の森など、檜山には豊かな緑を満喫できる森林がもりだくさん。

また、清流日本一にも輝いた後志利別川ではラフティング、今金町の美利河ダムの魚道観察窓、上ノ国町を流れる天の川にはバードウォッチングの施設があるなど、あらゆる自然を堪能できるスポットもある。緑あふれる豊かな自然を満喫するもよし、家族とともに外遊びを楽しむもよし。あなたの「檜山」を見つけてほしい。



復興の森(奥尻町)



後志利別川(今金町～せたな町)

## 木々によって育まれた、檜山地方の歴史。

「檜(ひのき)の山」と書く広域地名。その由来は、古来よりヒノキアスナロが自生し、それを伐採してきた歴史にある。ヒノキアスナロの材質が「ヒノキ」に似ていることから、生育している山を檜山(ひのきやま)と呼び、それがやがて檜山(ひやま)と定着していく。なお、松前藩の檜山奉行所が江差に移り、

伐採と植林事業を行いながら、一般民政をも取り扱ったことが管内における公的機関のはじまり。

このヒノキアスナロを筆頭に、檜山にはナラ、イタヤカエデ、エゾマツやトドマツといった針葉樹と広葉樹、北限と南限の樹木が混ざり合い、今も豊かな森を形成している。



美利河ダム(今金町)



天の川(上ノ国町)